

学生の皆さん、こんにちは。学生主事の飯島です。

皆さんには、コロナウイルス感染防止対策や学校行事・課外活動などで、ご協力いただき感謝しています。

このような状況下でも、課外活動や研究活動などで活躍した学生が多く、素晴らしいことだと感じています。

ロボコンの連続優勝や廃炉創造ロボコンの最優秀賞、読書体験記コンクールでの受賞を始めとする多くのコンテストや大会における活躍は、小山高専生としての努力が認められたものと思います。次年度も個々の能力を開花させ、目的意識を持って何事にも望んでください。期待しています。

さて皆さんは、この1年間、振り返ってみていかがですか？

社会的な状況も変化し昨年に引き続き変動の年となりましたが、どのように感じたでしょうか？コロナ禍においては、オンラインツールが充実し便利になった反面、人どうしのコミュニケーション能力が低下しています。学校は、社会とは異なり、利害関係をなくした学生どうしの自由な交流ができる場所です。メールやLINEで済ますのではなく、きちんと会話することを最優先にし、人の批判ばかりでなく、場の雰囲気を見極め、良い雰囲気を作り、自分の意見と人の意見の妥協点も見出していけるような会話を覚えていってください。

また、学生時代には、いろんな失敗をしても大丈夫です。

他の人と能力や個性、向上するスピードは異なって当然です。

自分の能力や人間性を自覚してから、個々の能力は飛躍的に向上します。完璧でないからこそ人間らしいといえますので、そんな自分も好きになり、他者から見た自分を想像し、改善するようにしてください。特に、多くの人と話すこと、将来のキャリアイメージを持つことで視野も広がっていきます。これからも失敗を恐れずに様々なことにトライしてください。この経験は、就活のための自己分析として非常に重要なものになります。

卒業・修了する皆さんも、今が社会人としての基礎を得ただけということ認識し、常に謙虚な気持ちを持ち向上し続けてください。そして、必ず数年後には高専を卒業して本当に良かったというように活躍してください。また、卒業後もいつでも気軽に来ていただき、後輩たちに仕事のことや大学のことを話してあげてください。

これから成績の判定がありますが、仮に留年したとしても、人間性を否定されたわけではないので自分自身の将来について考える良い機会を得たと考え、その時にしかできないことにもチャレンジして、結果的に留年したことで気づけて良かった、遠回りして良かったと思えるようにしてください。

さて、これから春休みです。アルバイトやゲームばかりせずに、**資格の勉強、就活や進学対策**など有効に活用してください。

特に、就職・進学活動ではかなりの変化があり、進学では志願者増加で大学レベルの難易度が上がり、進学・就職ともにオンライン面接、オンライン試験なども多く導入され、入念な情報収集、テクニックの修得や関連機器の整備が必要になります。各自、きちんと調査し取り組んでください。

また、最後になりますが、小山高専では、友人どうし、先輩後輩、学生どうしの助け合い（ピアサポート）を推奨しています。皆さんが、個々で学業面や学校生活面などで困っている学生を助けられる強さとチームワークを持って意識を変えるだけで皆さん自身だけでなく学校の雰囲気も大きく変わります。どうかよろしく願いいたします。

私からの話は、以上になります。